

1. ワークライフバランス推進強化月間における各府省等の主な取組例

※詳細は資料3-2参照

【共通取組事項】…全ての府省等が実施する取組事項

- ① 大臣、事務次官等からの強力なメッセージの発信
メール、巡回、放送等による継続的なメッセージの発信
- ② 「ゆう活」と超過勤務縮減の徹底
超過勤務予定の事前把握の徹底
- ③ フレックスタイム制度の普及促進
「ゆう活」に合わせた周知・利用促進
- ④ テレワークの積極的な実施
テレワーク・デイズ(7/23～27)における集中実施
- ⑤ ペーパーレス化の推進
審議会・幹部会議のペーパーレスでの開催
- ⑥ 不要・不急業務の見直し
- ⑦ 休暇(年次休暇・夏季休暇)の一層の取得促進
連続休暇の取得促進
「男の産休」の周知・取得促進

【独自取組事項例】…各府省等や各職場の実情に応じて実施する取組事項

<価値観・意識の改革>

- ① 幹部職員が「働き方改革」に取り組むビジョンを作成し、部下と共有
【総務省、厚生労働省、農林水産省】
- ② 推進責任者を指定し、職場独自の「働き方改革」の取組を推進
【警察庁、農林水産省】
- ③ 外部有識者等による「働き方改革」のセミナー等の開催【内閣府、警察庁、総務省、外務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、防衛省】
- ④ 組織活性化に向けた職員の意識調査の実施・活用【内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省】

<職場における仕事改革>

- ⑤ 外部委託可能な業務の洗い出し【外務省】
- ⑥ 不要業務の廃止・削減・集約を上司が決定・宣言【農林水産省】
- ⑦ 定型業務を自動化するRPA (Robotic Process Automation) 等の先進技術の試行【外務省、経済産業省】
- ⑧ 公用文の様式作成支援プログラムや公用文用変換ソフトの利用促進
【公正取引委員会】
- ⑨ 持ち運び可能な執務用PCを活用し、内部打合せにおける原則ペーパーレス化の推進【外務省、厚生労働省、経済産業省、環境省】

<働く場所と時間の柔軟化>

- ⑩ Web会議の実施・試行【総務省、経済産業省、環境省、原子力規制委員会、防衛省】
- ⑪ フレックスタイム制度の申請の簡素化(自動計算フォーマットの使用)
【内閣府、国土交通省】

2. 平成30年度国家公務員の「ゆう活」のポイント

- ① フレックスタイム制等も活用しつつ、終業時刻を17時15分までに早め、原則定時退庁
- ② 霞が関等において、原則20時以前の庁舎の消灯を励行
- ③ 「ゆう活」の前提として、業務削減、業務効率化等の「働き方改革」を推進

